

平成 30 年度の優先課題

- ①地域包括ケアシステムにおける看護基礎教育の見直し
- ②高知県に貢献する学生の確保
- ③防災教育の充実並びに学校防災マニュアルの整備

優先課題の実施及び評価

- ①地域包括ケアシステムにおける看護基礎教育の見直し

【平成 30 年度の取り組み】

1. カリキュラム編成のための準備

教務主任をリーダーに、カリキュラム委員会を立ち上げ3つのワーキンググループ毎に、2022年までの3カ年の主な業務計画を立案した。月に1回定期的に会議を持ち、情報及び知識の共有を図った。

更には、複数の教員が、地域の実情把握及び実習施設開拓のため施設の見学を実施した。(回復期リハ・地域包括病棟、特別養護老人ホーム、あったかふれあいセンター等)

- ②高知県に貢献する学生の確保

【平成 30 年度の取り組み】

1. 県内定着に向けて

学年担当による1年の低学年からの進路・就職指導を徹底し県内就職の推奨を行った。更には、教務主任及び3学年担当教員との協働による就職指導を通して県内就職の推奨を行った。

10月には高知県看護協会幡多支部主催の就職・進学相談(看護フェア IN 幡多)へ1年生全員が参加した。

2. 学生確保に向けて

高等学校訪問及び各種進路相談会へ参加すると共に、オープンキャンパスを3回実施した。市町村広報へは入学試験募集要項の掲示を依頼した。

- ③防災教育の充実並びに学校防災マニュアルの整備

【平成 30 年度の取り組み】

1. 学校防災マニュアル整備

学校防災委員会を定期的に開催し、マニュアル作成に取り組んだ。防災マニュアルは、【事前・初期・継続・事後対応】について主に取り組むべき項目の整理を行った。

令和元年度の優先課題

- ①地域包括ケアシステムを踏まえた第5次カリキュラム改正への準備
- ②学校防災マニュアル作成